令和４年度(令和３年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	2-2
PDCA	主要事業名	職員研修事業	部課名	企画部人事課	担当	藤原
					内線	222

P 総合計画との関係性と予算根拠

総合計画： 5 － 3 － 1 単位施策： 行政運営

全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 3 年度 全体事業費等： 8,843 千円

会計 一般会計 歳出科目： 02.01.01.12.01

３か年実施計画（当該年度事業費等）： － 千円

事業概要等

事業概要：	「半田市人材育成基本方針」に基づき、職員のキャリアに合わせた効果的な研修を実施することで、職員が、自ら考え行動できる「自立した職員」として、主体的に将来像や進路を描き、その実現に向け創意工夫し、能力を高めるために実施する。
事業目的：	半田市民全体の奉仕者としてふさわしい品位と識見を備えた能率的な職員を養成し、市行政の円滑な運営を図る。
事業内容：	各階層に組織力向上に重点を置いた研修を行うとともに、育児休業取得者や女性監督職への支援を目指した専門研修を新たに実施する。
問題点・課題等：	入庁１年目職員の早期戦力化、若手職員（入庁８年目）の法務能力の育成、育児休業取得者等への支援。

予算額

8,843 千円

財源内訳

市費 8,082 千円

国費 43 千円

県費 0 千円

その他 718 千円

主要事業とする理由

研修を通じて職員の成長を促すことが、魅力と活力溢れる半田市を創造する礎となるため。

得られる成果

職員個々の学ぶ意欲を高め、計画的かつ総合的な職員研修を実施することにより、自ら考え、行動できる「自立した職員」を育成することができる。

目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和２年度	令和３年度	単位
人事評価（執務態度・能力評価）の平均点	実績値	33.9	33.8	－	点
	目標値	36.0	36.0	36.0	点
電話応対診断結果平均点	実績値	77.5	77.3	－	点
	目標値	80.0	80.0	80.0	点
	実績値				
	目標値				

予算見積書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

D 得られた成果と実績値

決算額

7,059 千円

得られた成果

ウィズコロナの中、オンライン研修を活用しながら職員の研修受講機会確保に努めたことにより、職員個々の学ぶ意欲を高め、「自ら考え、行動できる自立した職員」の育成に寄与した。

成果指標		令和３年度	単位
人事評価（執務態度・能力評価）の平均点	実績値	34.1	点
	目標値	36.0	点
電話応対診断結果平均点	実績値	78.4	点
	目標値	80.0	点

C 課題の整理

事業の評価・課題

D

人事評価（執務態度・能力評価）及び電話応対診断結果の平均点はともに目標値には達しなかったが、前年度を上回る結果となった。電話応対診断については、全体の95%が75点以上を獲得しており、研修等の実施による底上げができているといえる。

A 課題解決に向けた今後の方向性

今後の事業の方向性

改善推進

「半田市人材育成基本方針」に基づき、「自ら考え、行動できる自立した職員」を育成できるよう、各階層における研修を引き続き実施していく。組織の生産性を高めるため、昨年度に引き続き肯定型コミュニケーション研修を実施するとともに、新たに、組織横断的な視点を養うためのチームビルディング研修を実施する。また、ハラスメントを起こさない組織を目指すため、ハラスメント防止研修を実施する。実施については、新型コロナウイルス感染防止対策に努め、通信教育やオンライン研修を併用し、すべての職員の受講機会を確保していく。

観点別評価

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）